

2019.9.21-22

SUGO

Round

07

qualify



予選直前の公式練習でトップタイム しかし予選は不発でQ1突破ならず

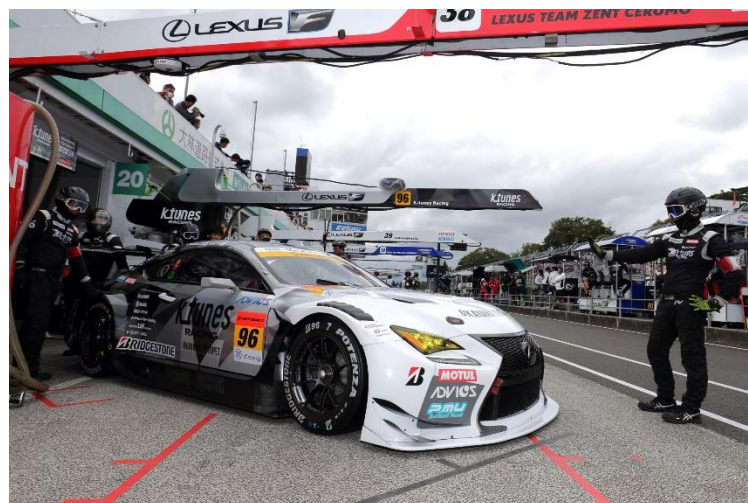


いよいよ今シーズンも残り2戦になりました。AUTOBACS SUPER GT 2019 第7戦は宮城県のスポーツランドSUGOを舞台に、激しいバトルが繰り広げます。

K-tunes Racingはここまで6戦で36ポイントを獲得、シリーズランキング3位です。トップの#55ARTA NSX GT3の41.5ポイントに対して、5.5ポイント差につけています。優勝が20ポイント、5位で6ポイントなのでその差はわずかです。

シーズン中盤、K-tunes Racingを苦しめてきたウエイトハンデは規定によって第7戦では半減。つまり好成績を上げてきたチームがウエイトハンデを下ろし、本来の速さを取り戻すわけです。それはチャンピオン争いを展開しているチーム同士がコース上で直接対決することになります。

8月にSUGOで行われた公式テストで5番手のタイムをマーク。LEXUS RC F GT3にとっても、相性の悪いコースではありません。そして予選直前の公式練習、阪口晴南選手が1分18秒178でトップタイムをマークしました久しぶりに速さで上位に入ったことで、公式予選への期待感も高まりました。





今回は予選をA、Bの2組に分け実施、これはコース上での混雑を防ぐための措置で、14台ずつのマシンが予選Q1を戦い、そのうち8台ずつが予選Q2へと進むことができます。

K-tunes RacingはB組となり、Q1を担当するのは新田守男選手。セッション開始と同時にコースインした新田守男選手は2周をかけてゆっくりとタイヤを暖め、アタックに入ります。しかし、そのタイムは1分18秒991で、暫定5位。まだまだ予選アタックするマシンがあるため、8位までに残るのは苦しい状況。続けてアタックした新田守男選手でしたがタイムを更新することはできませんでした。そして最終的にB組9位となり、予選Q1を突破することができませんでした。

残念な結果ではありますが、しかし決勝レースの天気予報は雨。レースは波瀾含みの展開になることが予想できます。しかし雨での安定した速さが持ち味でもあるK-tunes Racingにとって、予選結果をはね飛ばすチャンスです。チャンピオン争いの重要な局面だけに、注目が集まります。



2019 AUTOBACS SUPER GT Round7 SUGO GT 300km RACE
 スポーツランドSUGO
 2019年9月21日 天候：曇り 路面：Dry
qualify

Po	No	Machine	Driver	Q1	Q2	Tire	WH
1	61	SUBARU BRZ R&D SPORT SUBARU BRZ GT300 / EJ20	井口 卓人 山内 英輝	1'18.487	1'16.834 R	DL	17
2	55	ARTA NSX GT3 Honda NSX GT3 / JNC1	高木 真一 福住 仁嶺	1'18.341	1'17.189 R	BS	42
3	25	HOPPY 86 MC TOYOTA 86 MC / GTA V8	松井 孝允 佐藤 公哉	1'18.404	1'17.517	YH	17
4	56	リアライズ日産自動車大学校GT-R NISSAN GT-R NISMO GT3 / VR38DETT	平峰 一貴 サッシャ・フェネストラズ	1'18.655	1'17.561	YH	35
18	96	K-tunes RC F GT3 LEXUS RC F GT3 / 2UR-GSE	新田 守男 阪口 晴南	1'18.991		BS	36

監督・選手コメント



Team Director
影山正彦

予選はQ1を突破できず、残念な結果になってしまいました。ただSUGOに来てからは速さはあるし、決勝レースは雨という天気予報も出ているので、明日は良い結果を残せると思います。



Driver
新田守男

とても悔しい予選でしたね。ホントに悔しいです。午前中の結果から予選上位を狙っていたんですが、タイヤのグリップが来ない状況でタイムが出ませんでした。明日の決勝で巻き返します。

